

ご挨拶

当研究班の三年間（平成 27 年度～平成 29 年度）研究につきましてここに御報告としてまとめることが出来ました。ご関心をもって暖かく見守ってくださっておりました厚生労働省ご担当官の皆様、実際に研究テーマにご尽力を頂きました研究分担者、研究協力者の諸先生、そして研究期間中の連絡等に適切なご対応をくださった秘書（研究補助員）の皆様及び何らかの形でご支援くださいました方々に厚く御礼申し上げます。また、短期間内の多項目のアンケート調査に早期の回答協力を賜りました学術団体の代表者の皆様のご配慮に心底より感謝申し上げます。

研究者の先生方には、多岐に渡る研究テーマのそれぞれについて研究内容を詳細に分担頂いたものの、快くお引き受けくださった上、研究者間で横断的に積極的に相互情報提供・研究協力を頂きました。本挨拶文の以後でご報告させて頂きますように、研究申請時に予定した研究内容の全てを完遂・報告できたと振り返ることができました。次期に展開すべき「臓器がん登録の在り方」、「国民へ提供する医療行為の質向上の為の継続的な中断のない分析体制」の確立のための研究に、多くのご示唆を頂きました。この研究成果から得られた明白な知見・課題を有効に活用する為に、今後、更なる分析に多少の時間を要したとしても探求の上、しっかりと整理した上で改めて関係各位にご相談申し上げ、新たな研究を再開すべく、一考させて頂きたく存じます。もし、再度の研究班を構成させて頂く機会がございましたら是非、お力をお寄せいただきたく願う次第です。

先ずは、今回の研究、お力をお寄せくださいましたことに御礼申し上げますとともに、皆様の一層のご活躍を祈念申し上げます。

平成 30 年 4 月吉日

研究代表者 平田 公一
(札幌医科大学、JR 札幌病院)